

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6  
サンコート新千葉102号  
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp  
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263  
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター  
2014年4月10日発行 第72号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>



特集



2013年度子ども劇場千葉県センターの6事業からつかむ



# 子どもや養育者のリアルな声から、何を読みとるか？

子ども劇場千葉県センターは、1999年のNPO法人設立以来、「子どもの権利条約」を基本理念のベースとし、特に、12条「意見表明、表現の自由の権利」、31条「休息・余暇・遊びや文化的生活、芸術に参加する権利」が保障できる環境づくりに努めてきました。そのための具体的な事業づくり、事業方針は、時代背景や行政の施策の方向性、協働やネットワーク、応援者によって変化させてきたのは言うまでもありません。

特に最近では、各事業において、子どもや養育者のリアルな声や姿をつかめているか、その社会発信を積極的にやろうとしているか、それは成功しているかどうかを事業の成果の基準にしてみました。まだまだ充分ではありませんが、今、新年度をスタートする時期にあたり、ここで一挙にまとめてみました。

## ■なぜリアルな声や姿をつかむのか■

ともすれば、大人は子どもを未熟な存在として支配的な意識を持ったり、保護や教育の対象としての目線で見がちです。

しかし、たとえ幼くて、経験や知識や言葉が未熟であっても、それらは「子ども」の特徴であって、全身でさまざまなことを発信しています。そこから「いきいき育つ子ども時代」がいかに大切かを身をもって社会に示しています。私たちはそのことを自戒し、子どもの現実から出発し、声や意向を活かす方向で、力を合わせてこそおとなと子どもの共生社会をつくることができるのではないのでしょうか。『子ども市民』と言うからは、子ども周りにいて、子どもに伴走するおとなが、折々に子どもを観を確かめながら、それをつかもうとする在り方は欠かせません。

## ■求められる協働の更なる一歩■

6年前(二〇〇七年度)のユニセフのデ

ータですが、多くの子どもが情緒的幸福感(気持・気分、自尊感情、家族・友達・学校生活などへの満足度など)の低さを訴えています

「さびしい」と感じている日本の子どもは29.8%、「居場所がない」と感じている子どもが18.1%、OECD諸国の中で群を抜いて高いのです。

08年の千葉県子ども権利参画のための研究会が行った「千葉県子どもの実態・意識調査」でも、年齢があがるに従って、「楽しい」「自分のことが好きだ」「意見が大切にされている」と感じる子どもが減り、逆に「言いたいことをがまんしている」「相談する人がいない」「子どもが増えています」。

また、13年6月に「子どもの貧困対策法」が施行されましたが、日本の子どもの貧困率は16%に達しています。子どもの虐待の相談件数の増加など、おとな社会がゆとりを失っているなか、豊かな子ども時代の体験のためには、私たちみんなが今まで培ってきた経験値をベース

にしながらも、それだけにこだわらず、事業を広く社会に開き、協働の視点をもちいゆる「エクセレントNPO」になることが求められています。

## ■そんな視点をもってまとめる■

協働の相手や応援者、子どもたちのリアルな声と姿、関わったおとなが大切にしていることなど、視点をもってまとめました。今を生きている子どもたちの輝きや、大人にはなかなか見えない子どもの心の内、養育者のおかれた現状などを、読みとついただければ幸いです。

## インフォメーション

### 総会関連企画

子どもの権利委員会「子どもの権利条約第31条」に関するジェネラルコメントから学ぼう！

講師：嶋村仁志さん (IPA日本支部東アジア副代表・TOKYO P L A Y代表)  
日時：6月12(木) 10時30分  
場所：千葉市民会館 特別会議室

国連・子どもの権利委員会が「子どもの権利条約」に関する一般的見解

(ジェネラルコメントGC17) を発表

2010年の子どもの権利委員会への報告に対し、初めて31条に関し、独立した項目として「子どもの毎日の生活のかなに休息・遊び・文化をしっかりと位置づけること」という勧告がされてから3年、この最新情報を得て、一人で読むのはちよつとむずかしいGC17をみんなで学びます。奮ってご参加を！